



大阪医科薬科大学
Osaka Medical and Pharmaceutical University

2023/7/21 東京コンファレンスセンター
令和5年度第1回都道府県肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会

大阪医科薬科大学病院における 術前肝炎ウイルス検査陽性者対策

大阪医科薬科大学病院

1 肝疾患センター

2 消化器内科

中谷尚文¹、西川知宏^{1,2}、西川浩樹²、朝井章^{1,2}

肝疾患センターの組織と体制

施設名：大阪医科薬科大学病院

病床数：903床

病院種別：大阪府肝疾患診療連携拠点病院

特定機能病院

エイズ拠点病院

災害拠点病院

地域がん診療連携拠点病院

がんゲノム医療連携病院

大阪府難病診療連携拠点病院

救急病院（二次、三次救急告示医療機関）

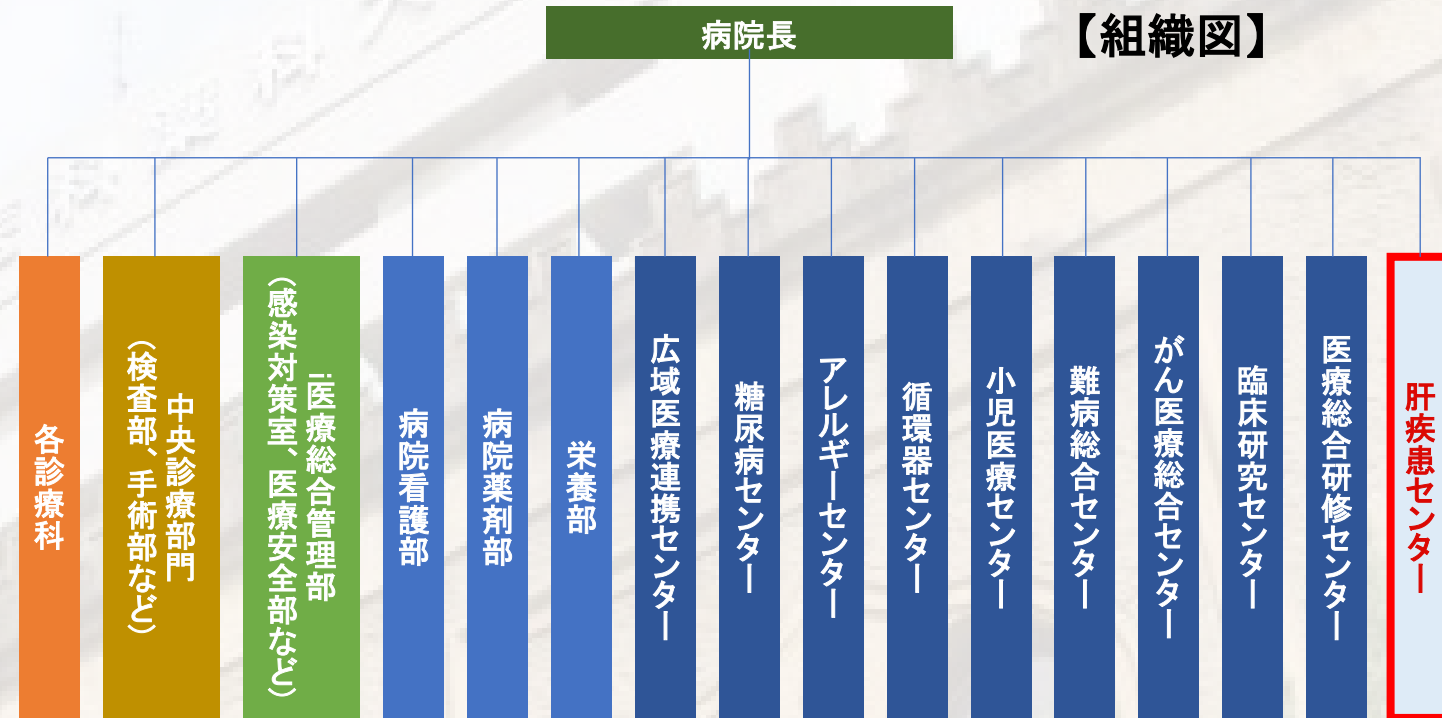
大阪府地域周期産母子医療センター

大阪府小児中核病院

大阪府最重症合併症妊産婦受入医療機関

大阪府新型コロナウイルス感染症重点医療機関

大阪府アレルギー疾患医療連携協力病院



肝疾患センター：

2008年7月に広域医療連携センター内の
肝疾患相談支援センターとして設置

2018年3月より肝疾患センターとして発展

肝疾患センター構成メンバー

合計: 18名

医師 3名



看護師 6名



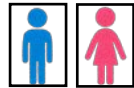
薬剤師 1名



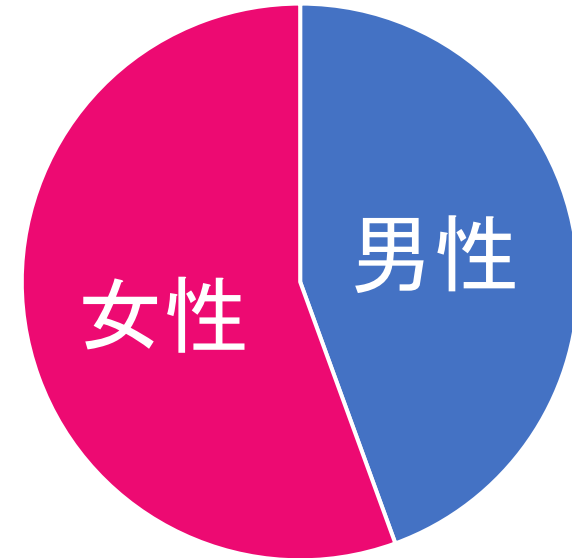
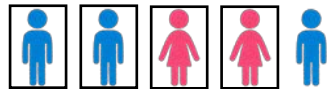
栄養士 1名



M S W 2名



事務 5名



肝炎医療コーディネーター

合計: 20名



肝疾患センター

看護師 2名

MSW 2名

栄養士 1名 事務 4名

病棟

看護師 1名

外来

看護師 1名

その他

看護師 1名

栄養士 4名 薬剤師 4名

構成メンバーの役割

医師(消化器内科医・消化器外科医)

患者診療、活動指針検討、講演など

看護師(外来、病棟、広域医療連携センター)

アラート対象者に対する疾患情報提供、
日常生活の留意点の説明、肝炎ウイルス検査の推奨、電話相談など

薬剤師

肝疾患に対する新薬の説明用紙作成と
がんサポート外来説明など

栄養士

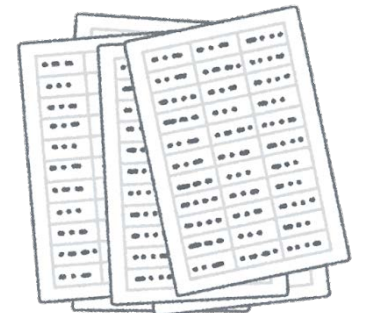
肝臓病食に特化した料理教室の開催、
肝臓病食メニューの考案など

MSW

就労支援に関するチラシの作成、
福祉制度の説明など

事務

各医療費助成制度の説明、
アラート対応のフィードバックなど



肝疾患センターの業務①

(1) 肝疾患センター運営委員会

月1回 開催

- ・肝疾患センターに寄せられた相談報告
- ・各協議会・会議・研修会の報告
- ・各部門からの報告
- ・今後の活動計画について など

メンバーで情報共有

【2022年度相談件数】

相談内容	R4年度
肝炎アラート対応	118
医療費助成制度に関して	44
肝炎訴訟について	29
病気自体に関して	24
医療機関に関して	4
日常生活上の留意点について	2
肝炎ウイルス検査について	2
受診相談	1
合計	224

(2) 院内研修

年1回 開催

第49回感染対策講演会

テーマ：「HBV感染と再活性化」

講師：消化器内科 朝井章 医師

ウイルス検査受診の必要性和
アラート患者対応について、
全職員に向け講演



2021年度
第49回感染対策研修会

今年度第4回目の感染対策研修会です Web開催もご利用ください

●開催日時
12月2日（木）17:10～

●場所
P101講堂（先着100名）
★Web開催いたします(ZOOM配信)★

演題：①結核の院内感染を防ぐためのポイント
②HBV感染と再活性化

演者：①感染対策室 室長 浮村 聡 先生
②消化器内科 朝井 章 先生

 第49回感染対策研修会
スマホ、タブレットの
方はこちらから

第49回感染対策研修会
<https://bit.ly/3mNOKbu>
PCの方はこちらから

注意事項
●ライブ会場は感染対策を考慮し、先着約100名とさせていただきます。
●Webで参加される方は入室後、職員番号@氏名に変更をお願いいたします。
→詳しくは裏をご覧ください
●DVD上映会はありません。後日、貸し出しDVDとe-ラーニングをご利用下さい。

お問合せは感染対策室まで 内線：2780/2939

肝疾患センターの業務②

(3) 市民公開セミナー

年1回 開催

消化器内科医師・管理栄養士が
脂肪肝について講演

大阪府肝疾患診療連携拠点病院
ONPU 大阪医科薬科大学病院

10 健康10
3 社会的責任
17 持続可能性

公開市民セミナー
脂肪肝

司会 肝疾患センター センター長 福西 新弥
講演1 「脂肪肝の正しい知識」
消化器内科 医師 福西 新弥
講演2 「脂肪肝と食生活」
栄養部 管理栄養士 尾籠 賢

事前申込制
定員 90名
参加費 無料

日時 令和4年 10月1日(土)
10:00~11:15(開場時間:9:30)
場所 大阪医科薬科大学
新講義実習棟1階 P101

感染拡大防止のため、発熱や咳など体調の悪い方はご遠慮ください。当日はマスクの着用をお願いいたします。

申込方法: お電話もしくは肝疾患センター窓口にて
お申込みください。
大阪医科薬科大学病院
「肝疾患センター(患者総合相談室内)」まで
TEL 072-683-1221(代)
★申込み開始: 定員になり次第終了

主催: 肝疾患診療連携拠点病院 大阪医科薬科大学病院/肝疾患センター 後援: 大阪府、高槻市、高槻市医師会



(4) 専門職に対する講演

年2回 開催

- ・北摂肝疾患連携セミナー
- ・大阪肝疾患WEBカンファレンス

第8回 北摂肝疾患連携セミナー
(Zoom開催)
2022年7月28日(木)
19:00~20:00

会場: 中之島インテス 15階 会議室1
住所: 大阪市北区中之島6-2-40 中之島インテス
TEL: 06-6441-6531

特別講演
座長: 大阪医科薬科大学病院 肝疾患センター長
大阪医科薬科大学 先端医療開発学寄附講座 特任教授 福西 新弥 先生

『 知っておきたいアルコール臓器障害診療のポイント
～アルコール性肝障害を中心に～ 』

奈良県立医科大学 消化器・代謝内科 教授 吉治 仁志 先生

開催形式: Web (ZoomWebinar) を使用致します。
本研究会は事前登録制となります。
左記二次コードを読み取り頂く。下記URLにアクセス頂いて、
参加申し込みをお願ひ申し上げます。参加URLをご提供致します。
※ 講演会の録画/録音はご遠慮願ひます。

【大阪府医学生研修1.0単位取得】
CC05(心理社会的アプローチ)、CC19(身体機能の低下)

当日は参加頂いた皆様のため、ご署名、ご署名のご返報をお願い申し上げます。併せて記入いただきました個人情報、本研究会の出席者の
様名及び所属のみに限って院内のみに主眼点として提供させていただきます。その後の第三者に提供することはありません。また、適切な管理、使用目的達成後に
みやかに廃棄いたします。尚、ご理解とご協力をお願いいたします。
【問い合わせ先】〒530-0005 大阪市北区中之島6丁目2-40 中之島インテス15階 関西第一支店 医務3課 天野 拓 0680-1303-7295

主催: 大塚製薬株式会社 後援: 大阪医科薬科大学病院 肝疾患センター

Osaka
大阪肝疾患WEBカンファレンス

2023年3月2日(木)19:00~20:30
本講演会はLIVE配信となります。ご視聴方法は裏面をご覧ください。

【オープニングリマークス】19:00~
大阪医科薬科大学 第二内科 主任教授 西川 浩樹 先生

【特別講演】19:05~19:45
【座長】大阪医科薬科大学 先端医療開発学寄附講座 特任教授 福西 新弥 先生
『肝硬変診療のピットフォール ~本当はこわい不顕性脳症~』
【演者】 奈良県立医科大学 消化器内科学講座(消化器・代謝内科)
教授 吉治 仁志 先生

【パネルディスカッション】19:45~20:25
【司会】 大阪医科薬科大学 第二内科 主任教授 西川 浩樹 先生
『当院における肝性脳症の診断・治療 ~改訂ガイドラインを踏まえた治療戦略~』
【パネリスト】 北摂総合病院 消化器内科 主任部長 佐野村 誠 先生
大阪回生病院 消化器内科 部長 増田 大介 先生
高槻赤十字病院 消化器内科 副部長 吉岡 拓人 先生
大阪医科薬科大学 第二内科 診療准教授 朝井 章 先生

<<アドバイザー>> 奈良県立医科大学 消化器内科学講座(消化器・代謝内科)
教授 吉治 仁志 先生

【クロージングリマークス】20:25~
第一東和会病院 副院長 時岡 聡 先生
【主催】あすか製薬株式会社

肝疾患センターの業務③

(5) 肝臓病教室

大阪医科薬科大学病院

令和4年度 肝臓病教室 事前申込 無料

大阪医科薬科大学病院では下記日程で肝臓病教室を開催しております。
今年度はお申込みが必要となります。肝疾患センターにお電話いただくか、
直接窓口にてお申し込みください。
また、テーマ別にDVDを作成しております。無料で配布いたしますので、
ご希望の方は広域医療連携センター患者総合相談室にお越しください。

場 所：大阪医科薬科大学病院 第11会議室
時 間：15:00 ～ 16:00

開催日	テーマ	講 師
第1回 6月9日(木)	肝臓の持つ様々な役割について	医師 看護師
第2回 9月8日(木)	肝細胞がんに対する治療法	医師 薬剤師
第3回 12月8日(木)	B型肝炎ウイルス感染症について	医師 医療ソーシャルワーカー
第4回 3月9日(木)	脂肪肝(NASH)について	医師 栄養士

※予定が変更になることがあります。

お問い合わせ
大阪医科薬科大学病院
肝疾患センター（患者総合相談室内）
電話：072-683-1221（内線2923）



開催日(第2木曜日)		テーマ	参加者	再生回数	
第1回	R4.6.9	肝臓の働き	4	医師:25回	看護師:12回
第2回	R4.9.8	肝細胞がん	8	医師:18回	薬剤師:10回
第3回	R4.12.8	B型肝炎	6	医師:9回	M S W :2回
第4回	R5.3.9	脂肪肝	10	医師:9回	栄養士:8回
総計			28		



大阪医科薬科大学病院 OMPU WEBサイトへ

肝疾患センター 文字サイズ 小 中 大

R5/3/9開催の肝臓病教室

テーマ「脂肪肝」



【医師】

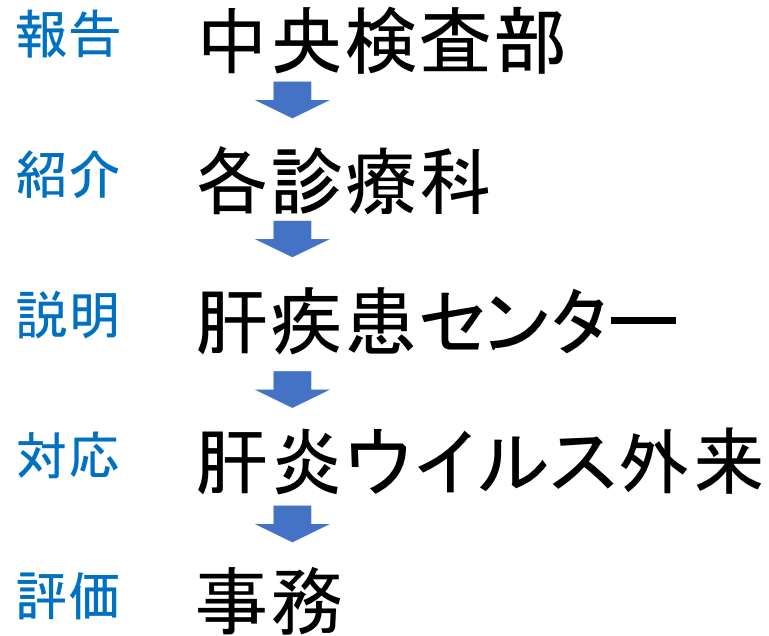


【栄養士】

年4回開催し、患者や家族、一般の方などに対して
医師・看護師・薬剤師・栄養士・MSWがテーマ毎に講義
また、講義を録画しホームページにUP

肝疾患センターの業務④

(6) 肝炎ウイルス陽性者の対応



アラートへの対応が
行われていない場合、

肝疾患センター医師から
当該科医師に直接連絡



外来 ID:0009201510 テスト リハーサル151
糖尿病代謝 非10(100%) テスト リハーサル151 81歳5ヶ月 型 Rh() ---cm ---kg

ナビゲータ ナビゲータ ヒストリカル
ブラウザ マルチビューア

【メディカルスタッフ記録】
2019/04/19(金) 18:32
01版: 2019/04/19(金) 18:32 シス管>富士通中田 (開発系) 非10

○【時間内検査】 2019/04/19(金) 糖尿病代謝 外来
依頼 01版: 2019/04/19(金) 18:33 シス管>富士通中田 (開発系) 非10
オーダー番号: 58021478
化学療法前HBs抗原

エディタ(新規) - テスト リハーサル151(0009201510)
標準 重要 履歴 注意 設定

【メディカルスタッフ記録】
2019/04/19(金) 19:04 糖尿病代謝 外来
01版: 2019/04/19(金) 19:04 シス管>富士通中田 (開発系)
作成: 2019/04/19(金) 19:04 作成者: シス管>富士通中田(開発系)

(S)
(O)
(A)
(P)

ここをクリック！
必要な項目が展開します！

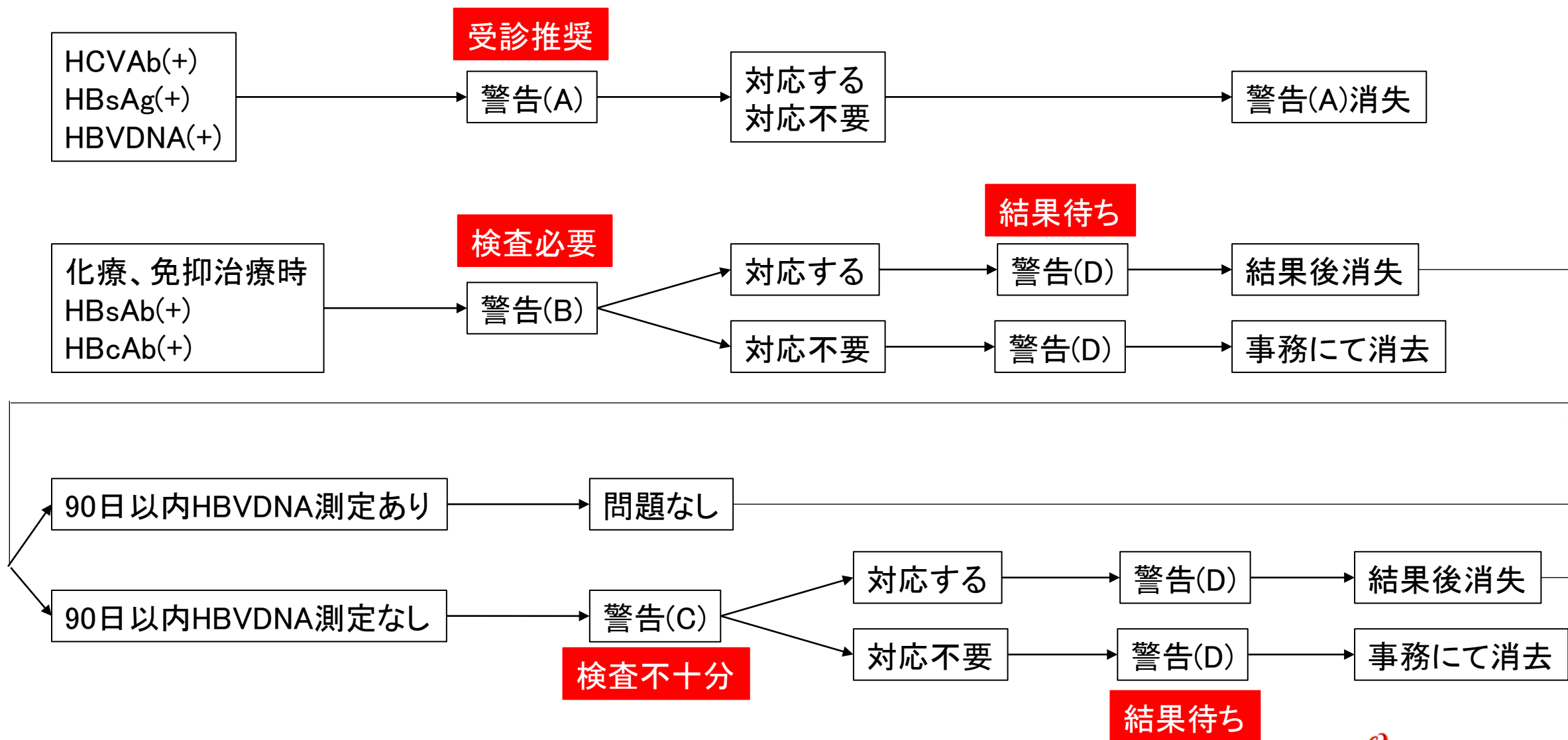
肝炎ウイルスが陽性です。消化器内科等を受診させて下さい(A)

肝炎ウイルス陽性患者の対応について

- ① 電子カルテ上のアラートシステム構築
- ② 実務担当者へのマニュアル作成
- ③ 肝炎ウイルスについての情報提供
- ④ 肝炎アラートシステムの運用

肝炎ウイルス陽性患者の対応について

① 電子カルテ上のアラートシステム構築



3種類のアラートを作成

警告A 肝炎ウイルスが陽性である患者

具体的には

HBs抗原陽性、HBVDNA陽性及びHCV抗体陽性です。
精査及び、時に治療が必要であり、マニュアルに順じて消化器内科に紹介してください。

警告B (警告D) 化学(免疫抑制)療法の前にHBV感染に対して精査が必要な患者

具体的には

化学もしくは免疫抑制療法前 HBs抗体陽性またはHBc抗体陽性です。
HBVDNA測定をお願いします。

警告C (警告D) 化学もしくは免疫抑制療法中でありHBV再活性化のチェックが必要な患者

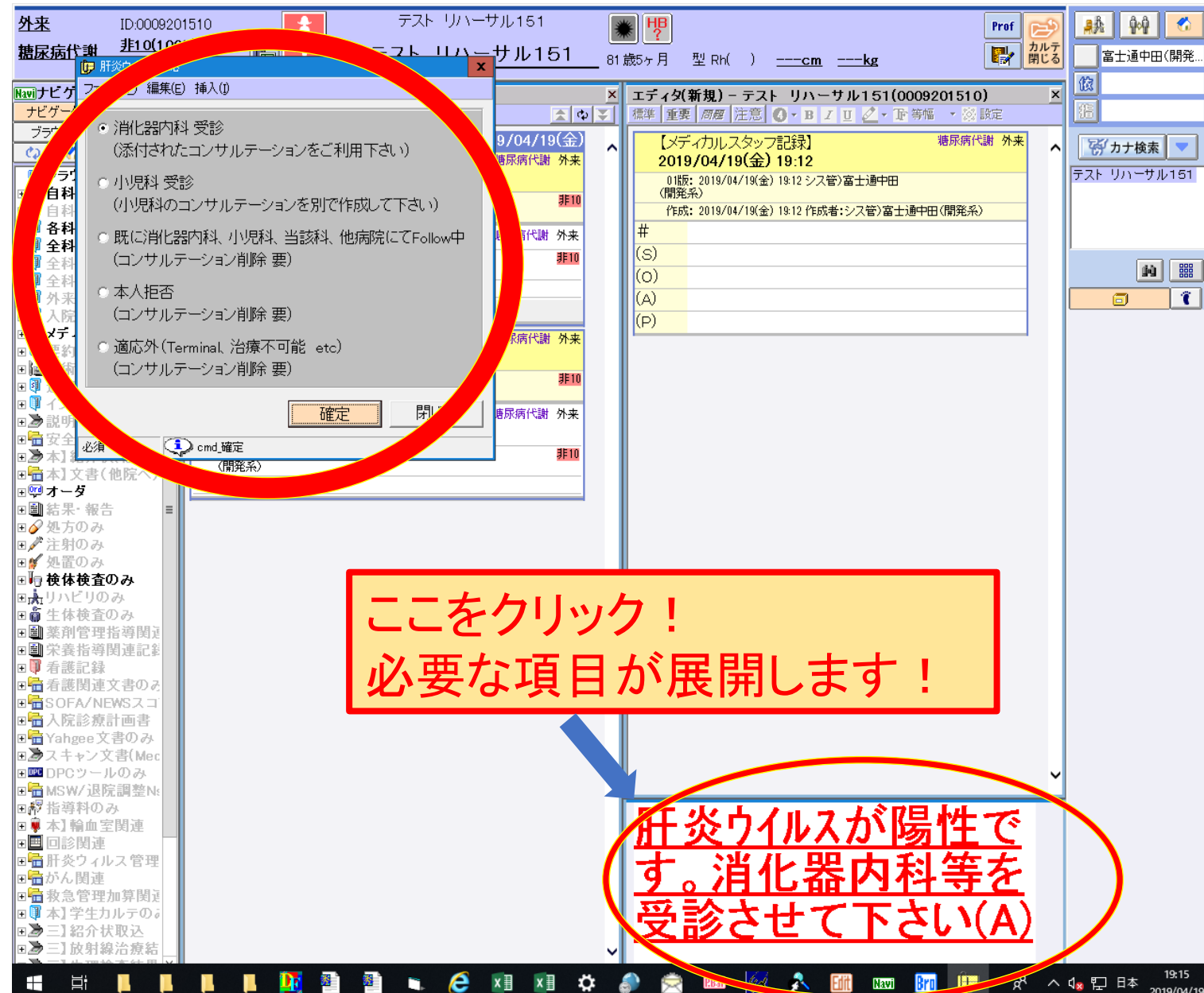
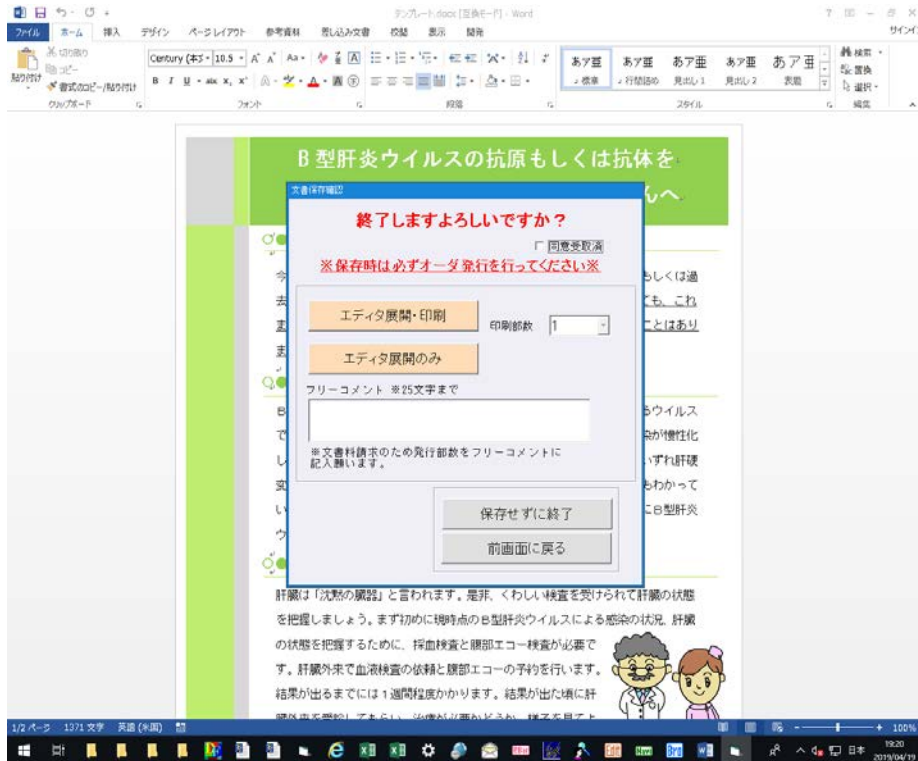
具体的には

HBs抗体またはHBc抗体陽性かつHBVDNAをしばらく測定していない
HBVDNA測定をお願いします。

必要な項目を 3つに集約

- 1、説明用紙
- 2、対応テンプレート
- 3、院内紹介

まとめて対応してもらう



外来 ID:0009800025 テスト 0025
消化器内科 生 保本(0%)

テスト 0025 75歳1ヶ月 ?O型 Rh(??) 153.4cm 14.200kg

採取日付 2015/03/31 時刻なし 次回診察日 保険 生 保本

検査項目: 生化学, 血液・止血, 蛋白・感染, 腫瘍・薬物, 内分泌, 自己・補体, 項目検索, ウイルス1, ウイルス2, 尿化学, アレルゲン, 穿刺液等, 負荷検査, 検査部用

基本セット 項目文字色にて検査実施部門を分類しています。院内中央検査部実施項目 外注SRL実施項目 院内輸血室実施項目

基本1 基本2 輸血関連検査

*印の項目は、外来”至急”依頼の場合、検査室到着後約1時間後に結果がでます。
<血液ガス分析> 採血後は速やかに測定して下さい。
<組み合わせ検査> 依頼コメント必須です。

動脈血・ガス分析
静脈血・ガス分析
NICU動脈血・ガス分析
NICU静脈血・ガス分析

*化学療法前HBs抗原
*免疫抑制療法前HBs抗原
HBs抗原が陰性となった場合のみHBs抗体、HBc抗体が自発生します。
*針刺し事故用HBs抗原定性
*針刺し事故用HCV抗体
*針刺し事故用HIV抗原抗体
*針刺し事故用梅毒TP抗体定性

検査に関して不明な点がありましたら”検査案内”をご参照下さい。(※参照は「F1」キー)
ルーチン時間帯は内線3301にお尋ね下さい。(中核情報室)

*下記の時間帯は時間外検査をお願いします。
病院休診日、平日16:50~翌朝8:30
第1・3・5土曜日の14:00~翌朝8:30

…当日依頼 選択中の検査項目数: 0
選択削除 全削除 重複削除
項目名称

依頼コメント フリーコメント 確定 閉じる

時間内検査 基本2

化学療法前HBs抗原

免疫抑制療法前HBs抗原

HBs抗原が陰性であれば
HBs抗体、HBc抗体まで測定

肝炎ウイルス陽性患者の対応について

② 実務担当者へのマニュアル作成

大阪医科薬科大学病院肝炎ウイルス対策マニュアル

検査を依頼した当該科は赤

警告(A)肝炎ウイルスに対する対応

A-11

警告(B)HBV再活性化リスクあり

B-13

警告(D)HBVDNA測定中

B-17

警告(C)HBVDNA測定未

C-5

検査の結果を報告する中央検査部は緑

HCV抗体、HBs抗原、HBVDNA陽性

A-4

化療、免疫抑制治療時HBs抗体、HBc抗体陽性

B-6

対策の必要性を説明する肝疾患センターは黄色

A-17

肝炎ウイルスに対する外来の消化器内科は黒

A-18

マネージメントを行う事務はオレンジ

毎週月曜日

A-19、B-26、C-9

肝炎アラートシステム導入に向けて

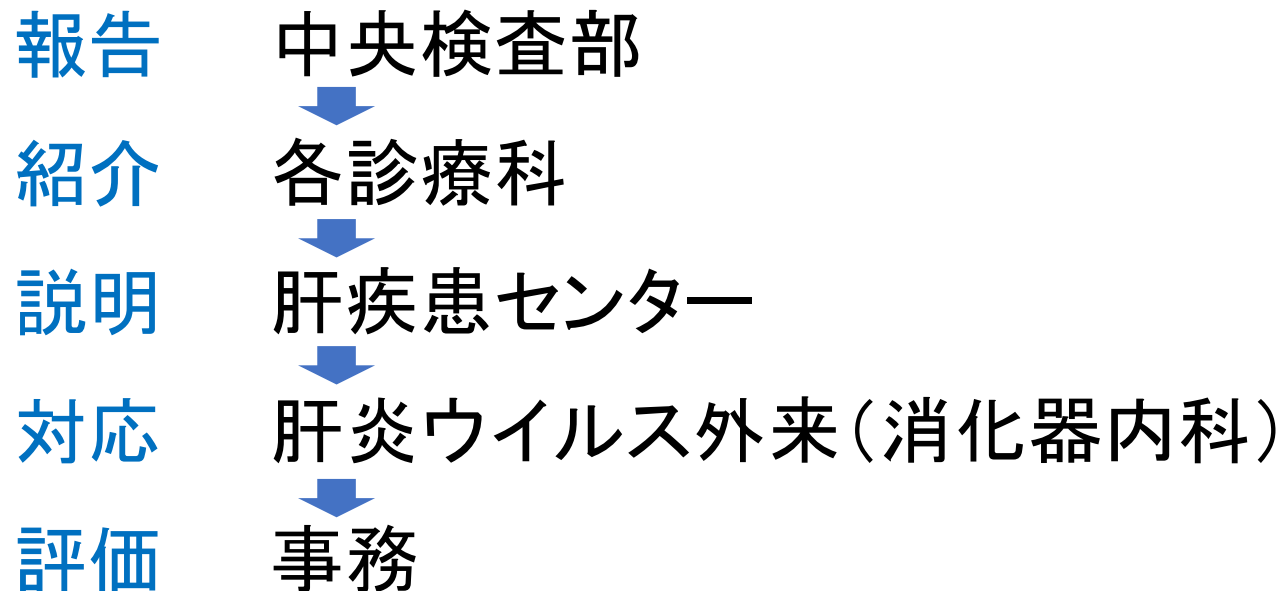
③ 肝炎ウイルスについての情報提供

院内感染対策研修の講演 : 全職員に対して施行

医局会での説明会 : 各科医局で医師に対して施行

看護師長会で説明会 : 看護師に対して施行

④ 肝炎アラートシステムの運用



医師だけではなく、看護師、
事務員、検査技師を含めた
コメディカルのみなさん
の力が非常に重要になります。

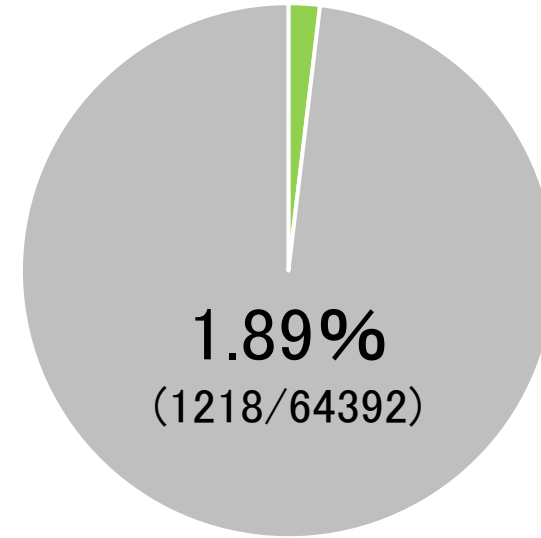
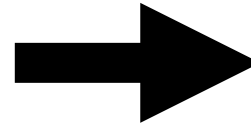
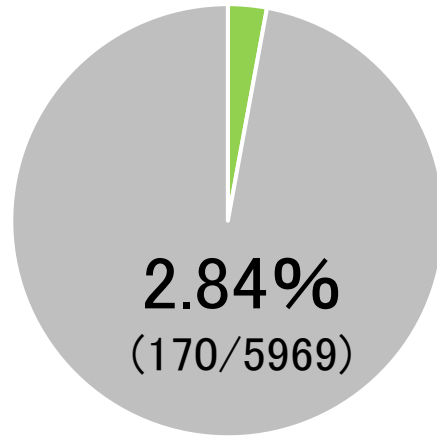
お手伝いをよろしくお願いします。

肝炎ウイルス検査陽性率(肝炎アラート導入前後)

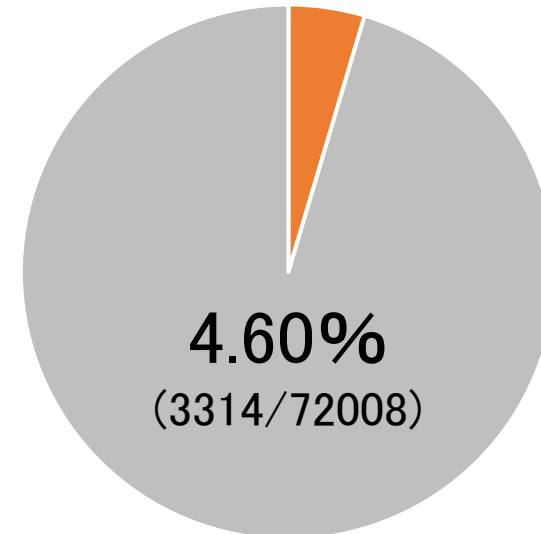
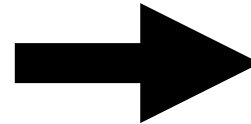
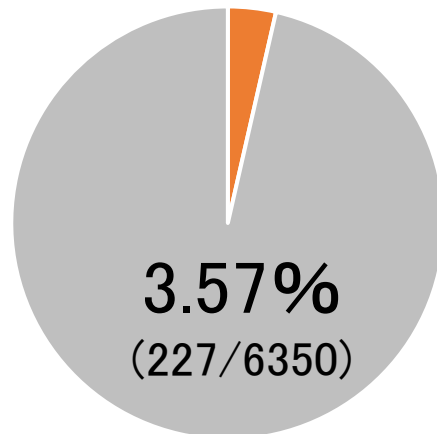
【導入前】

【導入後】

HCV抗体



HBs抗原

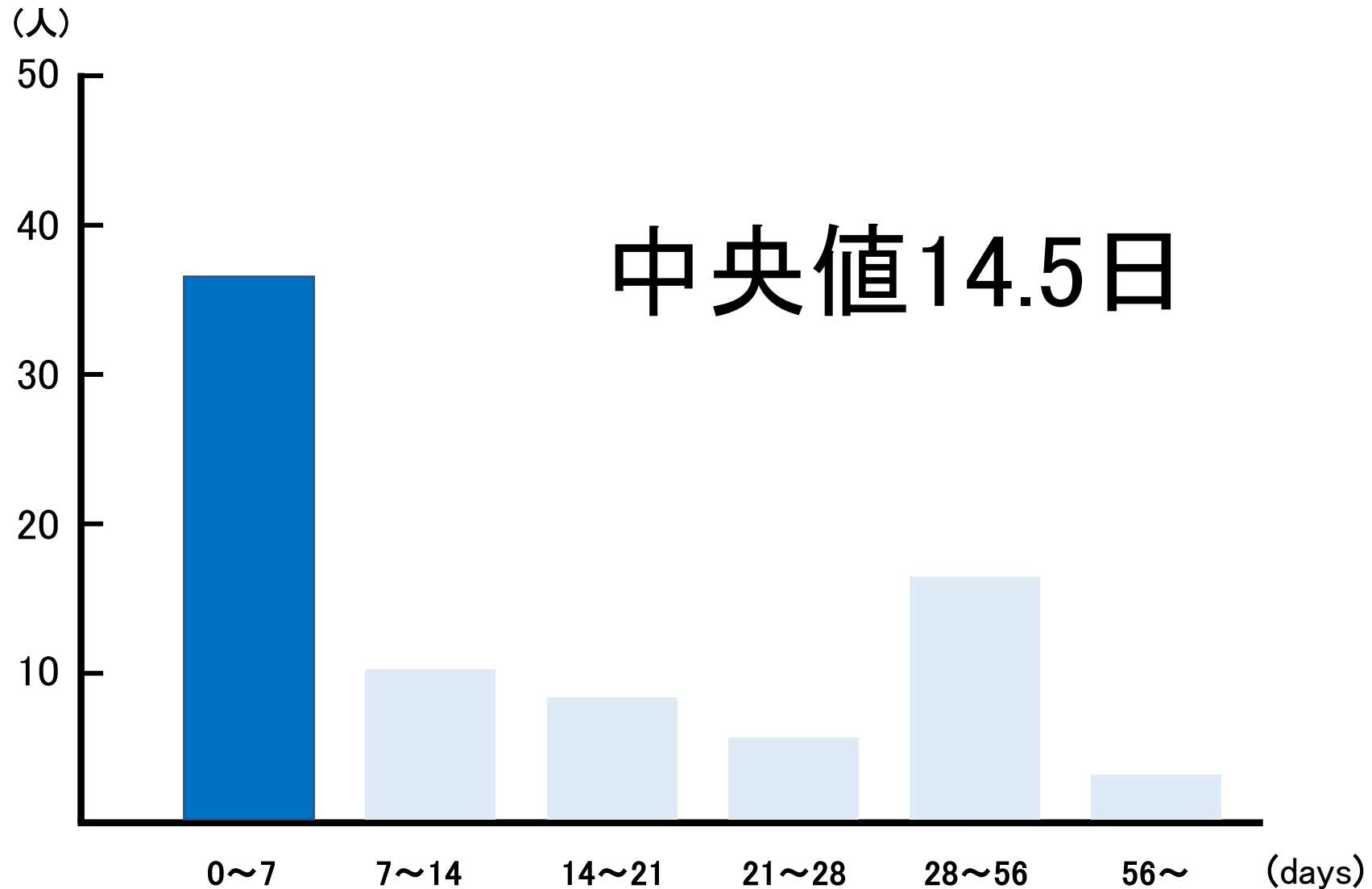


アラート導入前後で
どちらも陽性率は
変わらない

2016/4/1-2016/7/31

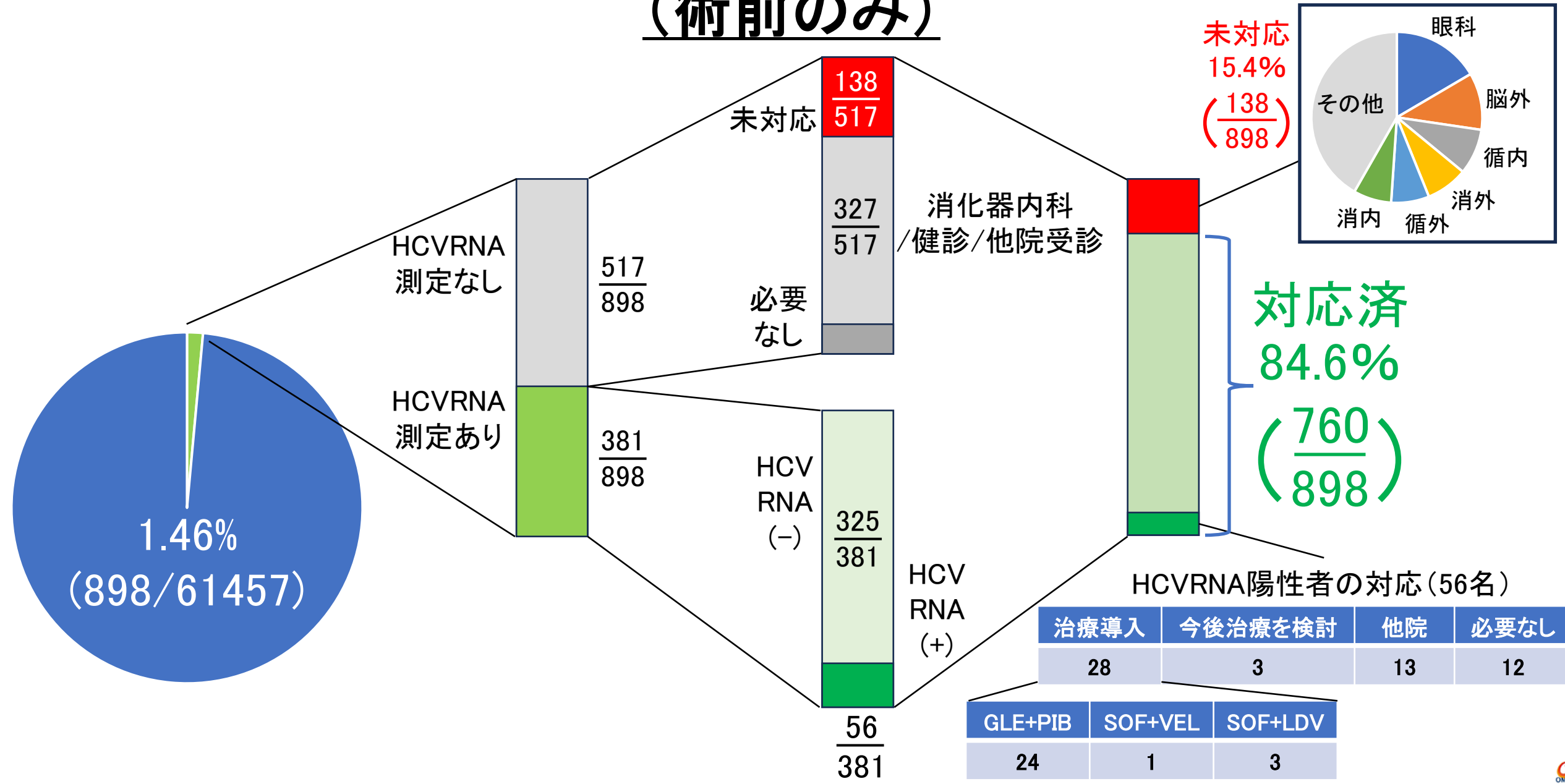
2020/1/1-2022/12/31

当院の肝炎アラートシステム介入から 消化器内科に紹介となるまでの期間

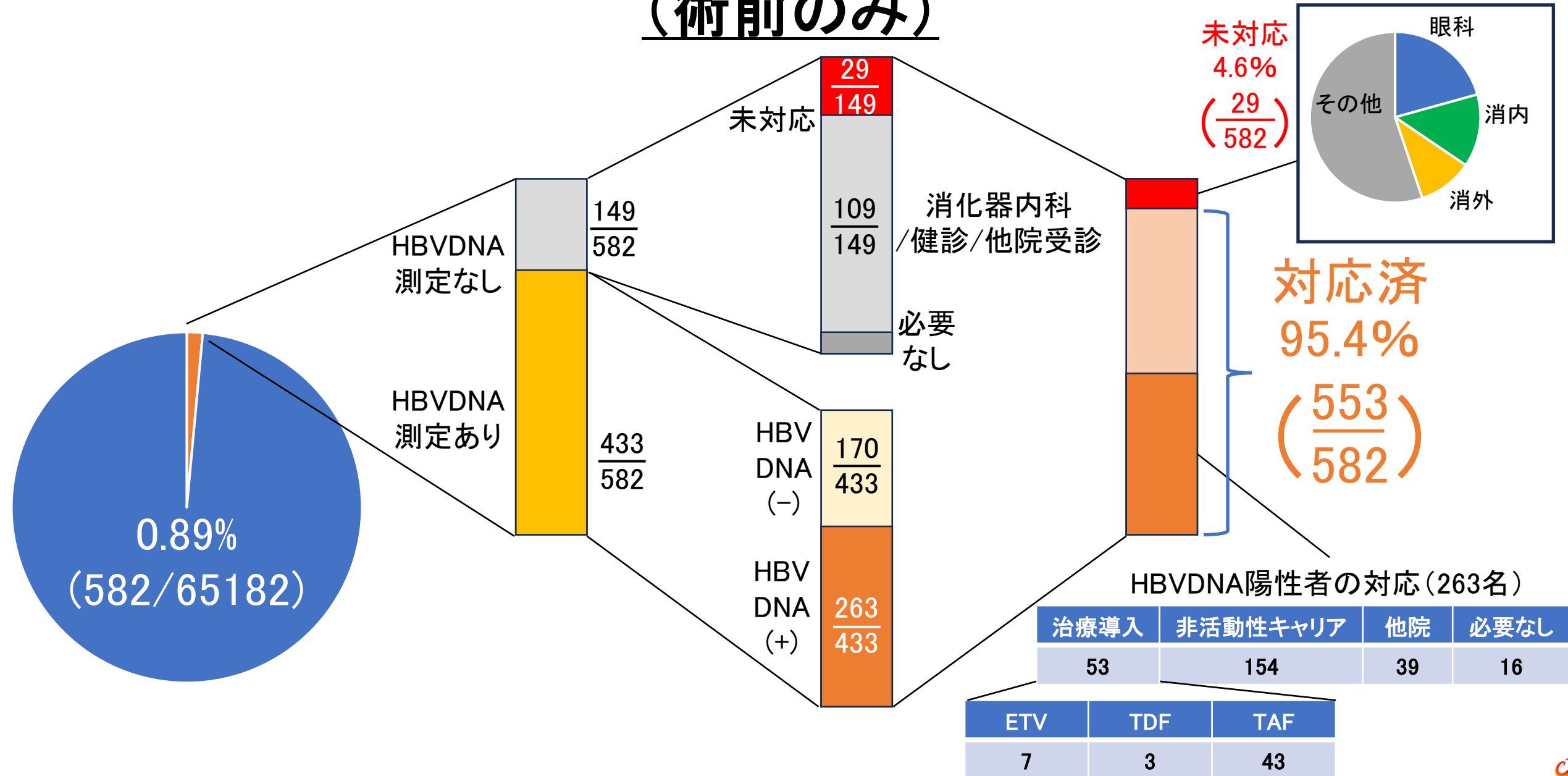


アラート導入後におけるHCV抗体陽性患者の対応

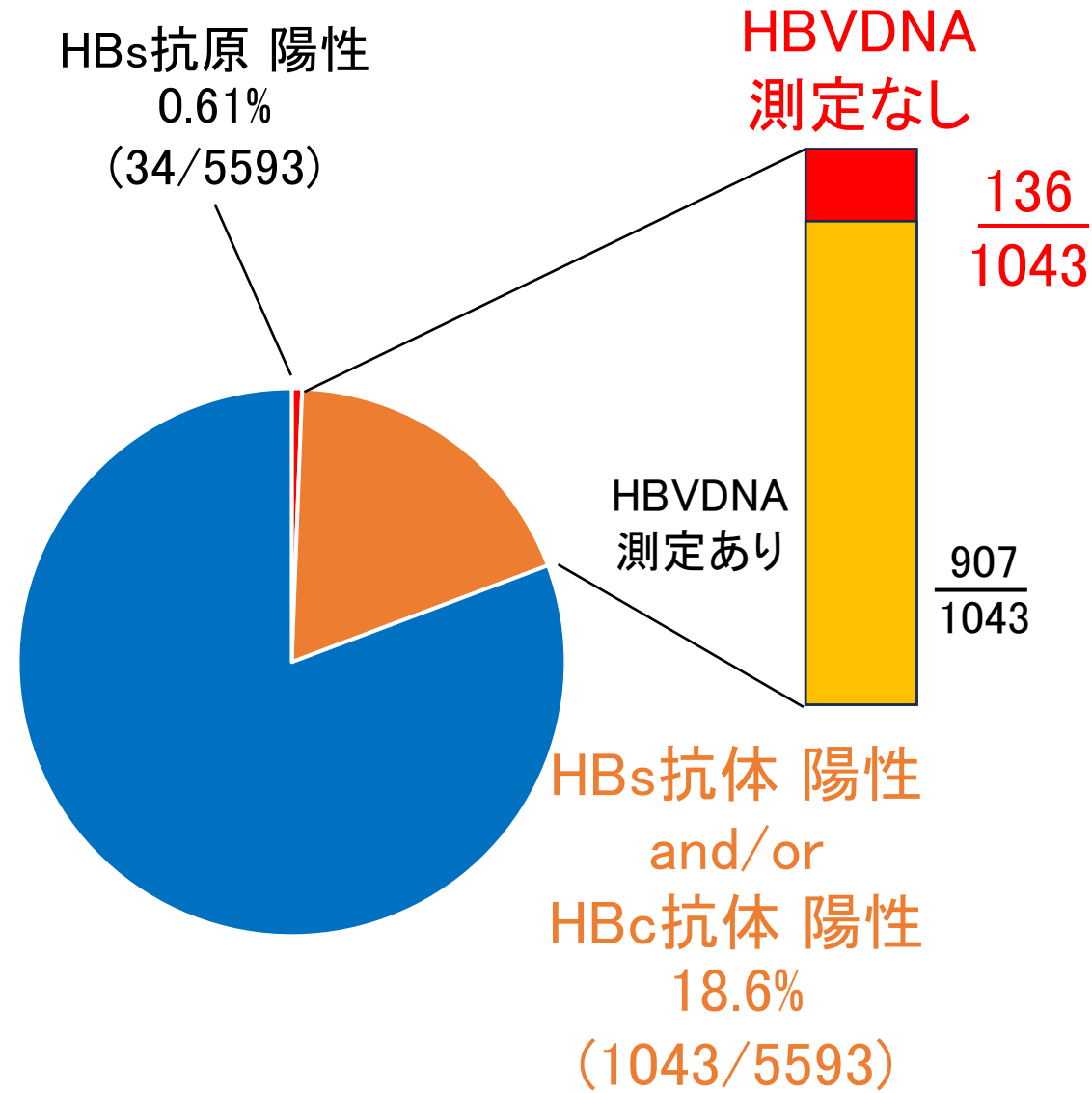
(術前のみ)



アラート導入後におけるHBs抗原陽性患者の対応 (術前のみ)



HBV再活性化対策 (専門医除く)



警告B
(警告D)

化学(免疫抑制)療法の前にHBV
感染に対して精査が必要な患者

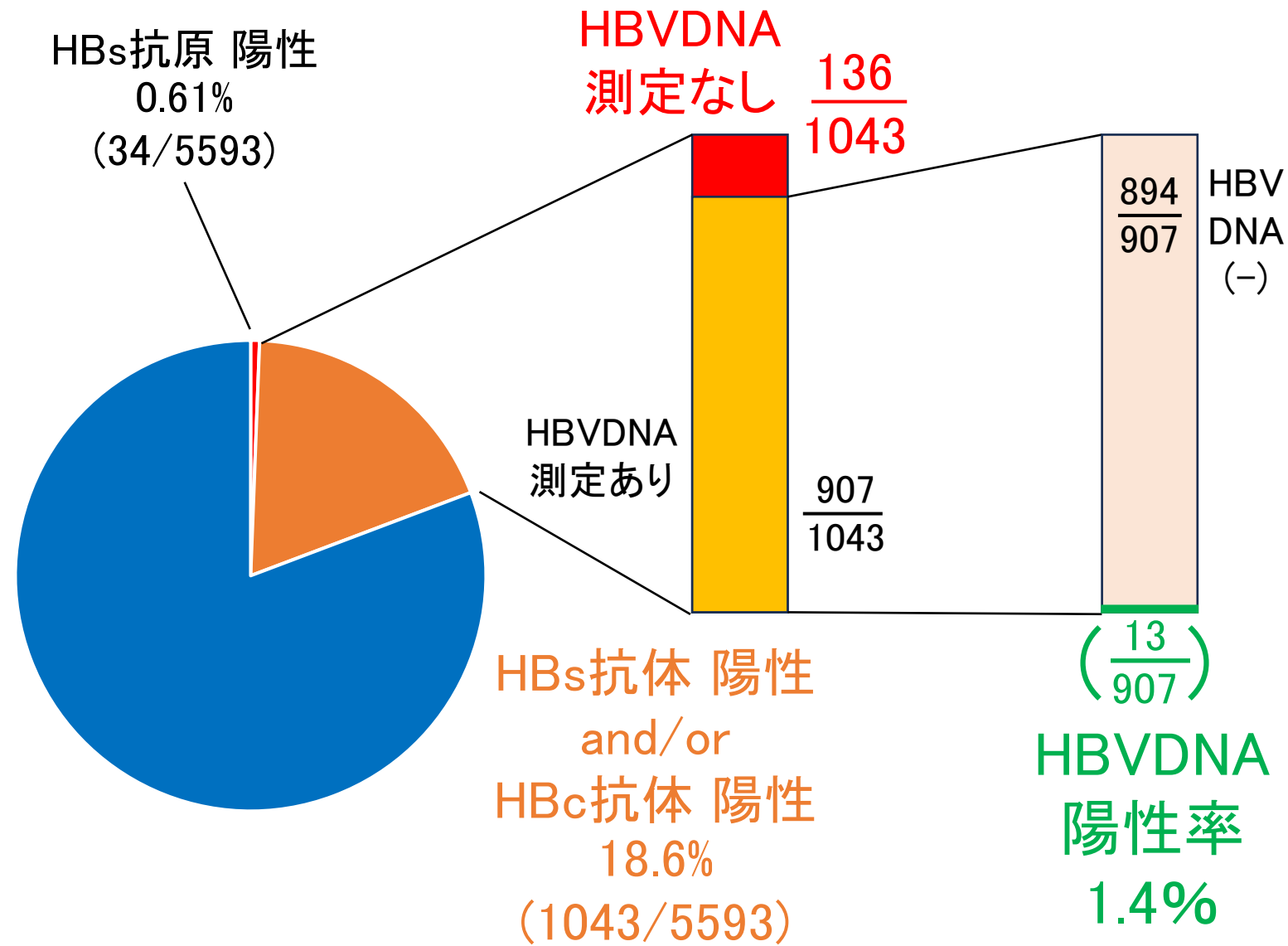
具体的には

化学もしくは免疫抑制療法前 HBs
抗体陽性またはHBc抗体陽性です。

HBV DNA測定をお願いします。

HBV DNA未測定率
13%

HBV再活性化対策 (専門医除く)

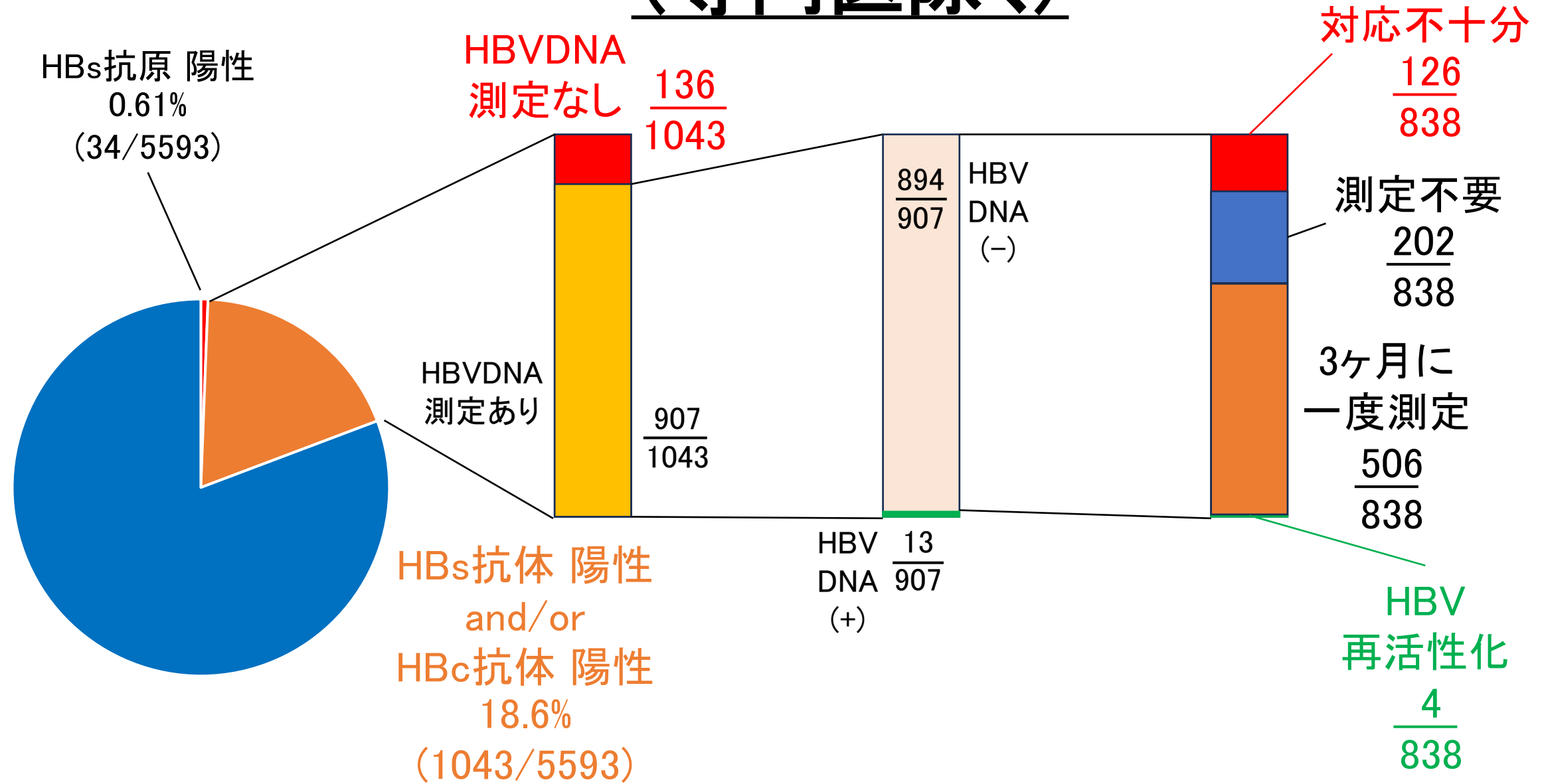


HBVDNAが陰性であれば、
最低3ヶ月に1回HBVDNAを測定

警告C 化学療法もしくは免疫抑制療法中でありHBV再活性化のチェックが必要な患者
(警告D)

具体的には
HBs抗体またはHBc抗体陽性
かつHBVDNAをしばらく測定
していない場合、
HBVDNA測定をお願いします。

HBV再活性化対策 (専門医除く)



HBV再活性化対策

(専門医除く)

HBs抗原 陽性
0.61%
(34/5593)

HBs抗体 陽性
and/or
HBc抗体 陽性
18.6%
(1043/5593)

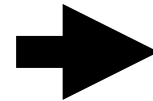
HBV再活性化対策が不十分
(未測定+対応不十分)
25.1%

HBV再活性化
に対して治療必要

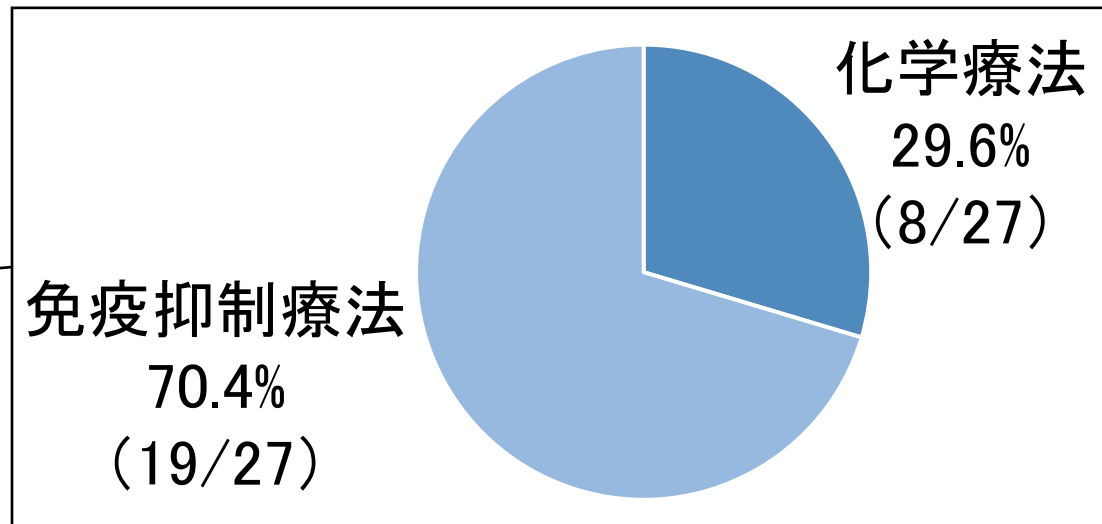
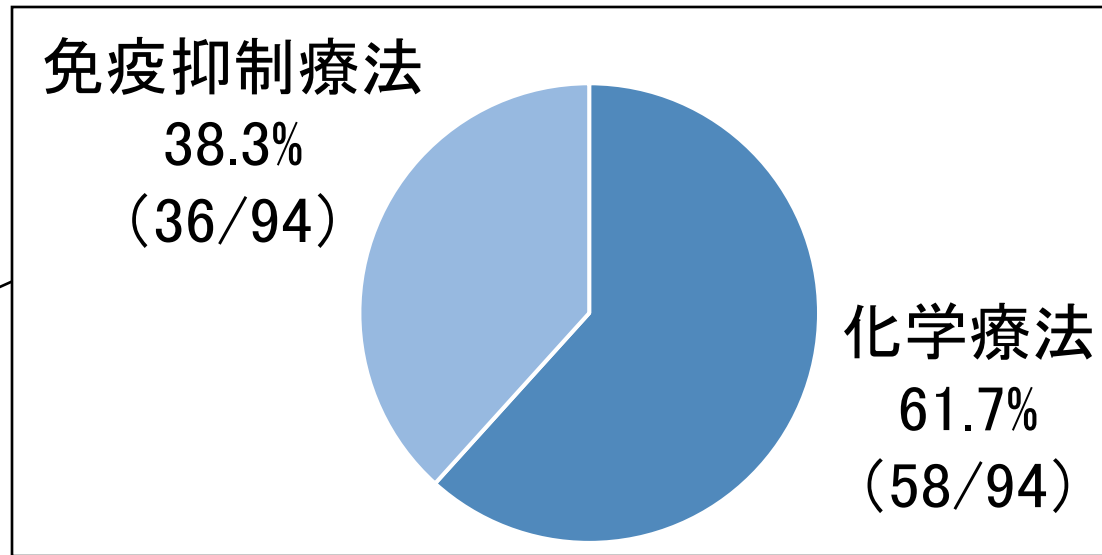
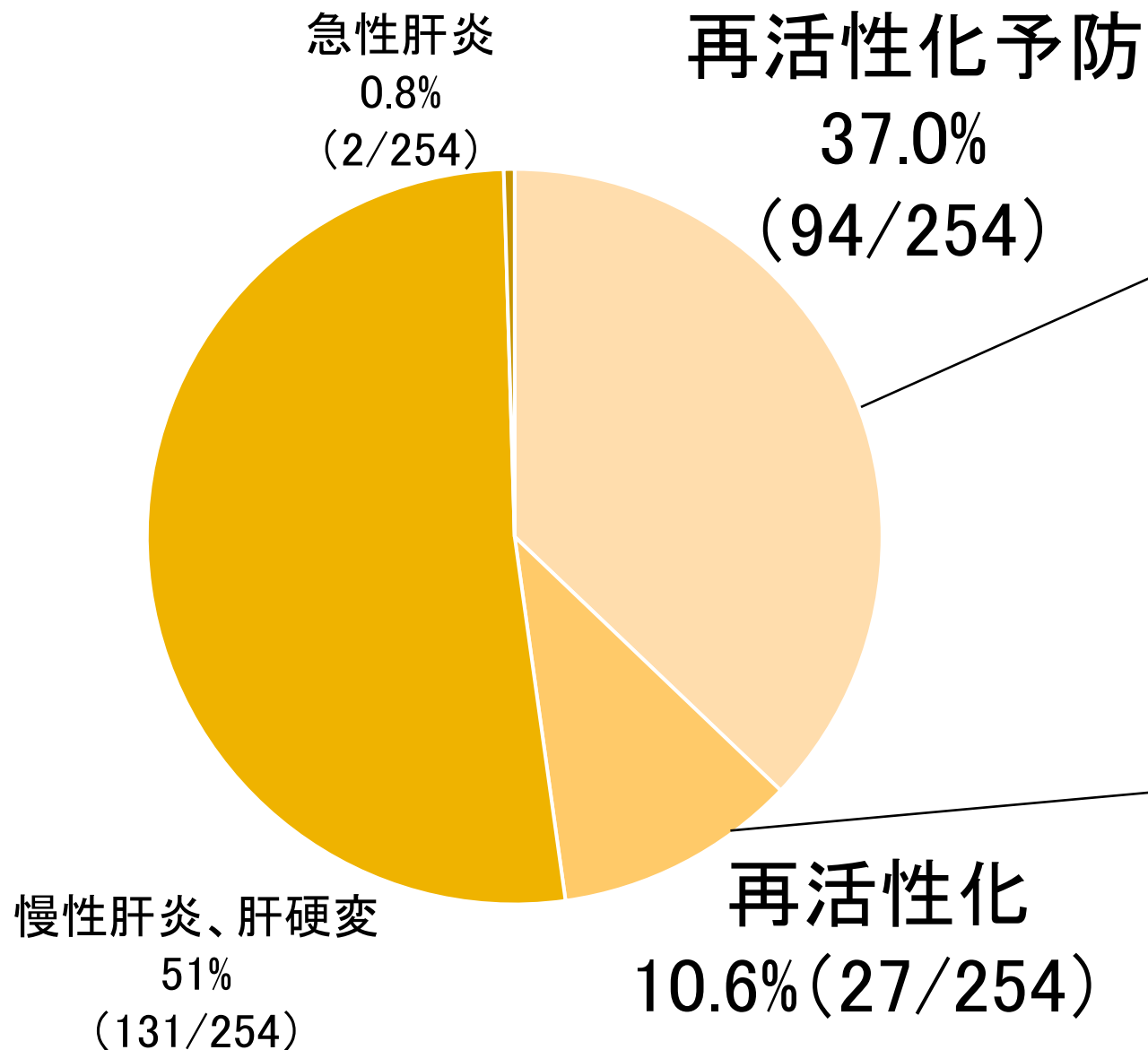
1.6%
($\frac{17}{1043}$)

$\frac{262}{1043}$

適切に対応

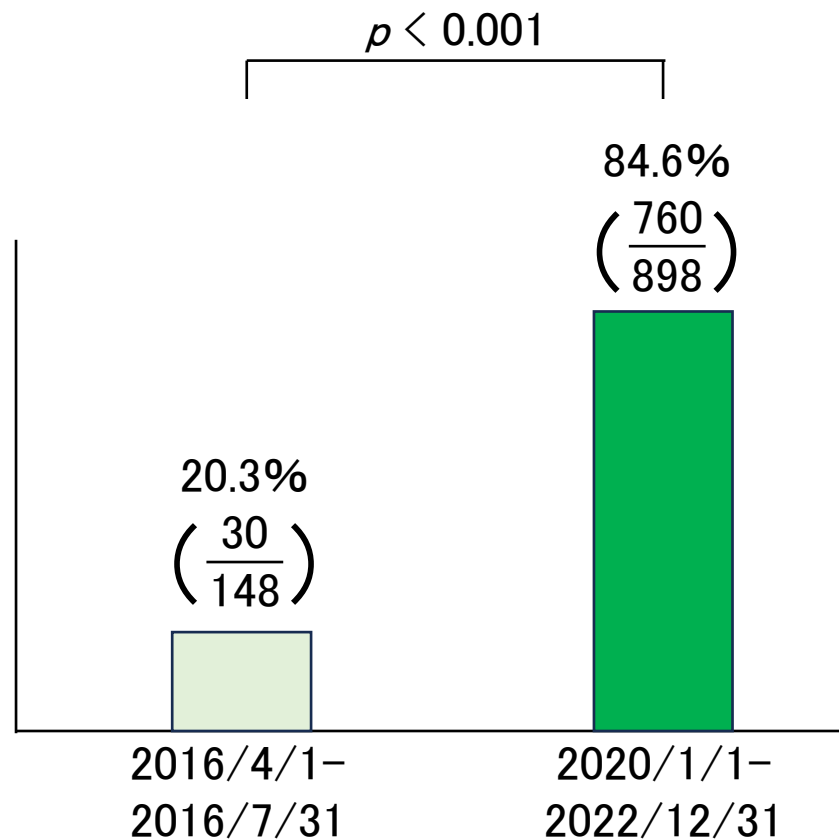


消化器内科での核酸アナログ製剤投与目的

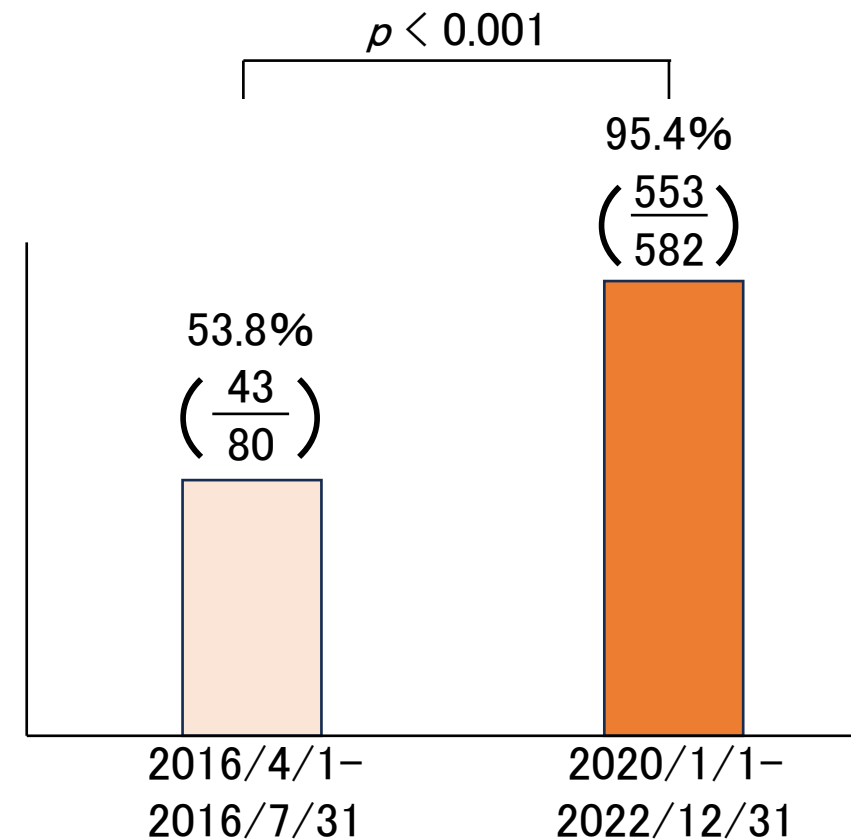


アラート導入前後における ウイルス性肝炎検査陽性患者の対応率 (術前のみ)

HCV抗体陽性患者に対する
対応された患者の割合



HBs抗原陽性患者に対する
HBVDNA測定率



まとめ

【利点】

- 1 多くの患者を適切な過程を経て治療に繋る事が出来た
- 2 院内において、肝炎ウイルス陽性患者対応の重要性に対する理解が浸透してきた

→ 当院では、肝炎医療コーディネーターの協力を得る事で、アラートシステムを効率よく稼働させている

【問題点】

- 1 なかなか理解してもらえない医師や患者がわずかに存在し、100%には至らない
- 2 特に再活性化対策は改善の余地が存在する

Acknowledgements

大阪医科薬科大学病院

肝疾患センター

Toshie Madokoro

Yoko Mimura

同 中央検査部

Naofumi Osaka

同 看護部

Mikako Hayashi

Hiromi Eguchi

大阪医科薬科大学 内科学2

Shinya Fukunishi

Hideko Ohama

Yusuke Tsuchimoto

Yasuhiro Tsuda

Keisuke Yokohama

Kosuke Ushiro

Saori Onishi

